

関 係 各 位

特定非営利活動法人
岡山県精神障害者家族会連合会
(通称 NPO 岡山けんかれん)
理事長 鵜 川 克 己
(公 印 省 略)

研修会のご案内

晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、下記の日程にて研修会を開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

第1部は家族限定で、家族が相談対応の基礎を学び、家族会につながっていない家族が孤立せずと同じ立場の家族と話し合い情報を共有するグループワークを行います。

第2部は糸川昌成先生（東京都医学総合研究所統合失調症・うつ病プロジェクト）の研修会を開催いたします。午後の部はどなたでもご参加いただけます。

統合失調症の新しい治療法をぜひ知りたい。統合失調症の最新研究情報を知りたい。様々な思いを持たれている人は多くおられると思います。統合失調症研究の最新情報を知る絶好の機会に多くの方のご参加をお待ちしております。

記

1、日 時 開 催 日 平成 2 5 年 1 2 月 2 1 日 (土)

◆第1部 10時から12時 参加対象：家族限定

「家族ってなぁに？ Iメッセージを体験しよう！」

小グループに分かれてリーダーを決め、グループワークを行う。

グループリーダー：家族アドバイザー

スーパーバイザー：今村由美子（精神保健福祉士）

◆第2部 13時から15時 参加対象：家族、当事者、関係機関、一般、他
研修会テーマ「統合失調症研究の最新情報 - 臨床家がなぜ研究をするのか - 」

講師：糸川 昌成先生

公益財団法人 東京都医学総合研究所統合失調症・うつ病プロジェクト

※事前申込不要、参加費無料

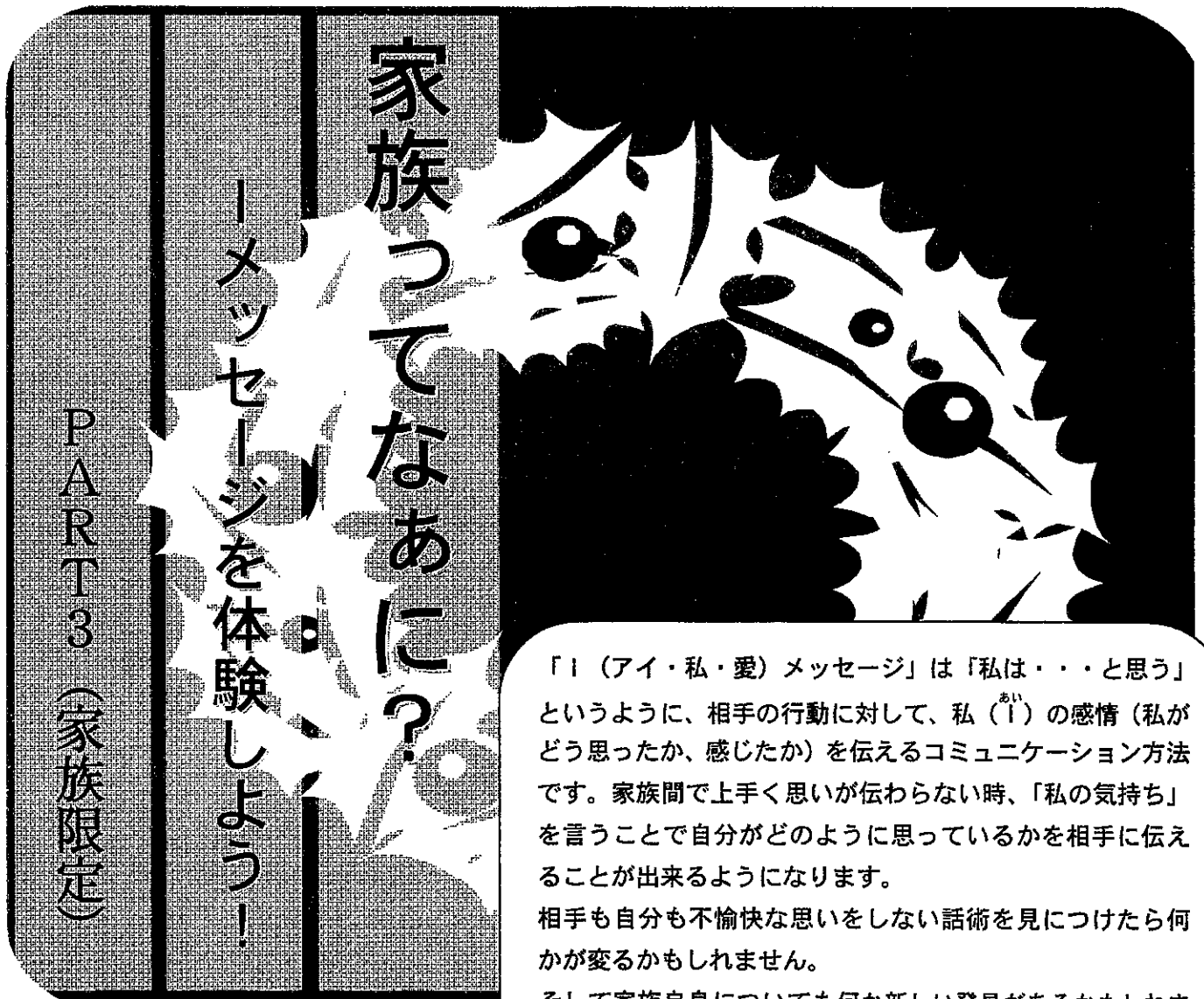
2、場 所 岡山市民会館 4 階会議室

3、問合せ先 〒701-0212 岡山市南区内尾739-1 NPO 岡山けんかれん

TEL：086-298-1162 fax：086-298-1168

Mail：desk@okayama-kenkaren.jp.org

担当：綾部 植木



「I（アイ・私・愛）メッセージ」は「私は・・・と思う」というように、相手の行動に対して、私（^{あい}I）の感情（私がどう思ったか、感じたか）を伝えるコミュニケーション方法です。家族間で上手く思いが伝わらない時、「私の気持ち」を言うことで自分がどのように思っているかを相手に伝えることが出来るようになります。

相手も自分も不愉快な思いをしない話術を見につけたら何か変わるかもしれません。

そして家族自身についても何か新しい発見があるかもしれません。

主催：特定非営利活動法人
岡山県精神障害者家族会連合会

助成：日本財団

日時：平成25年12月21日（土）
10時00分～12時00分

会場：岡山市民会館4階会議室
岡山市北区丸の内2-1-1

参加費：無料

精神障がい者を抱える家族を対象に、グループを作って話し合います。家族だけで悩まずに、是非ご参加ください。

※事前申込不要、公共交通機関をご利用ください。

◆お問合せ先

NPO岡山けんかれん

住所：岡山市南区内尾739-1

TEL 086-298-1162

Fax 086-298-1168

◆同時開催

講演テーマ：統合失調統合失調症研究の最新情報

- 臨床家がなぜ研究をするのか -

講師：糸川昌成先生

日時：平成25年12月21日（土）13時～15時

場所：岡山市民会館4階大会議室

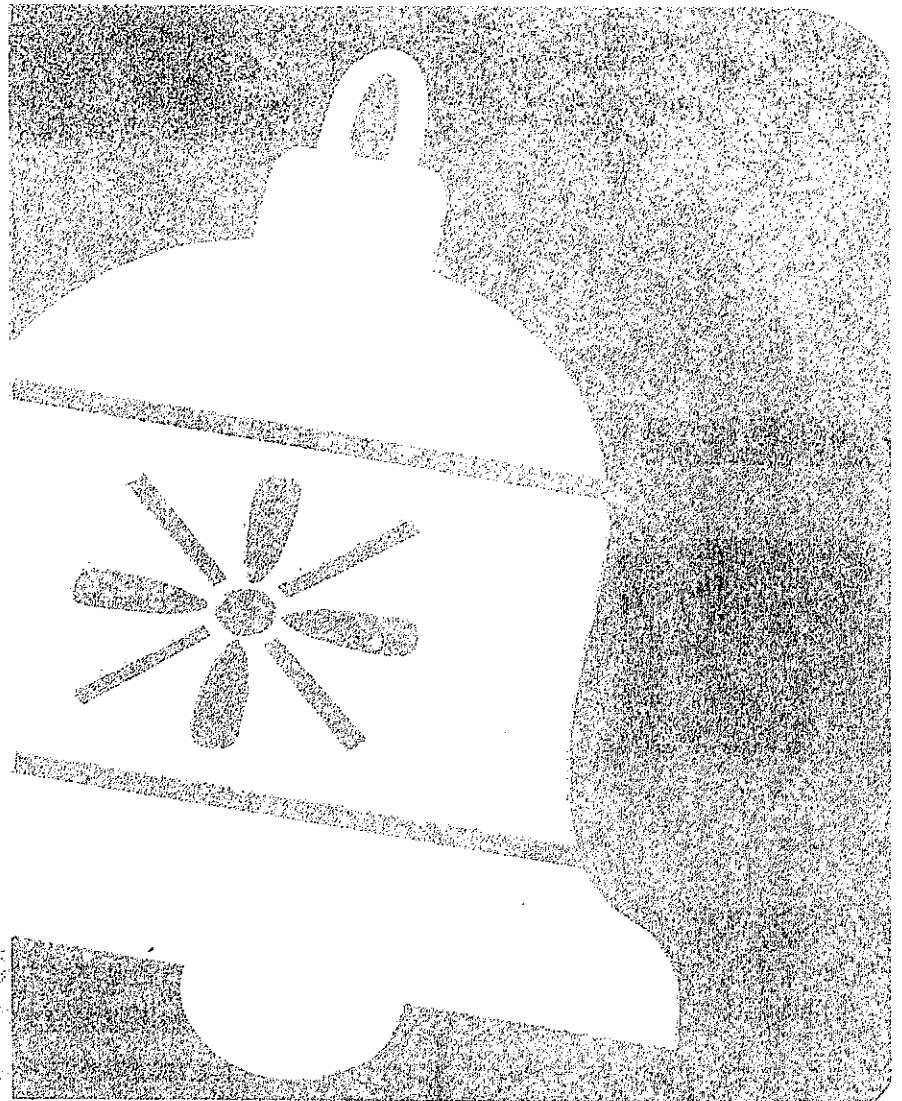
内容：糸川先生が開発を進めるまったく新しい考え方の統合失調症治療薬。あすへの希望を信じて統合失調症の解明にいどむ精神科臨床医が研究をすることの内実を具体的に語って頂けるとと思います。

著書：臨床家がなぜ研究をするのか -精神科医が20年の研究の足跡を振り返るとき-（星和書店）

参加費：無料

どなたでもご参加いただけます。

午前のプログラムに引き続きご参加ください。



統合失調症研究の最新情報

臨床家がなぜ研究をするのか

東京都精神医学総合研究所

統合失調症・うつ病プロジェクトリーダー

講師 糸川昌成先生

主催：特定非営利活動法人
岡山県精神障害者家族会連合会
助成：日本財団
日時：平成25年12月21日（土）
13時00分～15時00分
会場：岡山市民会館4階会議室
岡山市北区丸の内2-1-1
参加費：無料
（どなたでもご参加いただけます）

※事前申込不要、公共交通機関をご利用ください。

◆お問合せ先

NPO岡山けんかれん
住所：岡山市南区内尾739-1
TEL 086-298-1162
Fax 086-298-1168

糸川先生略歴：

H元年 埼玉医科大学卒業
東京医科歯科大学 精神神経科 研修医（融道男教授）
H23年 東京都医学総合研究所（研究所の統合移転）統合失調症・うつ病プロジェクト
プロジェクトリーダー（参事） 精神行動医学研究分野長

著書：

「臨床家がなぜ研究をするのか—精神科医が20年の研究の足跡を振り返るとき—」 星和書店

「統合失調症の回復が早まる本」（監修） 法研

内容：

糸川先生が開発を進めるまったく新しい考え方の統合失調症治療薬。あすへの希望を信じて統合失調症の解明にいとむ精神科臨床医が研究をすることの内実を具体的に語って頂けると幸いです。